

1

坂

拾う

注力

2

研究

銀

度

くすのきを

イ

いじめないでくれ

3

ウ

ウ

エ

ツンドラに

トナメス

冬にやす

雪の下に

雪を掘れる

冷寒

イウア

多

しずまのぼら

た。

夕

(5 完答)

(3 I 完答)

(2 I i 完答)

(2 I ii 完答)

(3 II 完答 b・c 順不同)

配点	
1	各2点×6=12点
2・3	各4点×22=88点
〈計〉100点	

1

- 1 「坂」を「板」や「阪」としないように。漢字をおぼえていくときには部首も意識しよう。
- 2 「捨」と「捨」は混同することが多いで気をつけよう。
- 3 「注力」は「目的の達成のために」力を注ぐことである。
- 4 「研」の右側が「井」にならないように注意しよう。
- 5 4と同様に細かなところまでいねいに書こう。右側は「良」ではない。
- 6 「度が過ぎる」は「限度をひどくこえていいること」である。

2

- 1 それぞれ、気持ちが行動に表れていることばである。どういう気持ちの時にはどういう行動になるのかを考えよう。
- 2 父親が何かを手を持っていてることをイメージしながら読み進めよう。そうすると、「手にしていた紙」ということばがあとに出てくることに気がついただろう。
- 3 「いい顔をする」は「まわりや相手に対して、友好的な顔つきや態度を示すこと」である。半年しか通えないのに義理も通さずに道場を移ろうとすれば、当然まわりからはよく思われない。
- 4 もちろん、押し切ろうとしているのは父親である。では父親はどうしようとしているかを考えよう。
- 5 「……え？」や「阿久津くんの家」、電話？ お父さんが？ という前後の表現から、電話することを考えていなかったことがわかる。考えていないことが起こった時の心情としてふさわしいものを選ぼう。
- 6 ここよりあとに「お父さんはお父さんの考えで、動くしかない」とあるが、当然、父親なりに宝のことを思っけて行動しているはずである。

- 7 「前の学校」と、本文の⑧の前後や選択肢から、転校していく宝に前の学校の友だちが色紙にメッセージを書いてわたしてくれたと考えられる。しかし、「友だちとのトラブルに父親が首を突っこみ、そのせいで宝はウザがられ」ていたのだから、たくさん書きこんでくれることはなかっただろう。とはいえ、まったく何も書いてくれなかったとするならば、そんなものを壁に貼っておくはずはない。
- 8 直後の「なのに結局、めんどうなことになってしまった」ということばから考えていこう。宝の思う「めんどうなこと」は、端的にいうと「父親が道場を変えようとする」「父親が善太に電話をする」の二つだろう。そう考えたとウとエが答えの候補になりそうだが、「剣道をやめさせられる」わけではないので、残ったウが正解となる。
- 9 文章全体から読み取れる父親の行動や言動などを手がかりに考えていこう。宝の気持ちや考えをきかずに、道場を変えようと提案したり、善太に電話したりしている。そして、文章の終わりの方からわかるように、父親は父親で自分が正しいと思っけて行動に移しているのである。

3

- 1 「トナカイ」といえば「冬」の動物というイメージなので、「夏」とは結びつきにくい。その、ふつうではイメージしにくい夏のトナカイの生活についてこの先で説明されているだろうと考えながら読み進めていこう。直後の段落からは「寒い地域の気候」の話になっており、「人は」で始まる段落からまた「トナカイ」の話になっているので、ここよりあとからさがそう。
- 2 I 線②をふくむ一文を読むと、「この理由」とは「トナカイ」についての理由で、かつ、「寒い地域」が関係していることがわかる。これをふまえて直前の一文に注目しよう。
II 本文の終わりの方に、「トナカイのメスには角がありメスは冬に生えるのはこのためです」とあるので、同じ段落のここより前からさがそう。この問題のように、——線部と答えの場所が離れていることも、学年が進んでいくと見られるようになる。1と同じように、「話題を考えながら読み進める」という練習を普段からしていこう。
- 3 難しいことばがならんでいてもあわてることなくいねいに読み進めていこう。同じ段落に「二つに分けられます」とあり、ここよりあとに「亜寒帯の〜」「寒帯の〜」で始まる段落があった。「気候」を意識してさがしていこう。
- 4 「多種多様」は「種類や性質などがさまざまであること」である。
- 5 「明るい」夏、「真つ暗な」季節ということば、そして、「極端」という表現から考えていこう。太陽がしまなければ明るい、のぼらなければ真つ暗だろう。
- 6 北方民族、つまり人間にとつての有用さがどこまで書かれているかが問われている。「一方、トナカイたちにとつても」と書かれているところは「トナカイの有用さ」とはいえないだろう。
- 7 「針葉樹の森」の言いかえを問われているが、まずは「針葉樹」の説明をしているところに言いかえた表現がなかったか、しっかりさがしてほしい。本文の「亜寒帯の樹木」を説明している段落に「針葉樹林」について書かれていた。

以上